第 10 章

トラブルシューティング

この章では、UCS-SCU アプリケーションの使用時に利用可能なさまざまなトラブルシューティング オプションを示します。

UCS-SCU 問題および解決方法

- OS のインストール プロセスが中断され、サーバがリブートする。

  ウォッチドッグ タイマーの値を決定します。ウォッチドッグ タイマーは、C シリーズ サーバの BIOS の新機能です。この機能がイネーブルで、値が OS のインストールに必要な時間よりも短い期間に設定されていると、OS のインストール プロセスは中断されます。このウォッチドッグ タイマー機能は、指定された期間後に自動的にサーバをリブートするか、電源をオフにします。OS のインストール プロセスを開始する前に、ウォッチドッグ タイマー機能をディセーブルにします。

- 仮想 USB をマッピングするか、物理的な USB を接続した後でも、UCS-SCU で次のメッセージが表示される。

```
No USB Disk on Key detected
```

  - vmedia を通じてマッピングした USB デバイスについては、vmedia GUI から [**USB reset**] の選択を試みます（[virtual media session] -> [details] -> [USB reset]）
  - 物理的な USB デバイスについては、ベンダーおよび製品情報を確認するか、異なるデバイスを試します。

- Windows OS をインストールした後、KVM マウスが動作せず、Windows デバイス マネージャで、USB ヒューマン インターフェイス デバイスに黄色の「!」が表示される。

  CIMC のバージョンを確認します。サーバに最新版の CIMC がインストールされていることを確認します。

- Windows 2008 のインストールが失敗し、次のメッセージが表示される。

```
Selected disk has MBR partition table.On EFI systems, Windows can only be installed to GPT disks.
```

  仮想ドライブの EFI CD-ROM デバイスが、Windows 2008 イメージのブートに使用されました。BIOS の CD-ROM 順から CD-ROM デバイスを使用します。

- UCS-SCU を通じて Windows オペレーティング システムをインストールした後、Windows デバイス マネージャで一部のデバイスに黄色の「!」が表示される。
  - デバイスがシスコのサポート マトリクスにない。
  - SCU GUI で一部のデバイス ドライバを選択していない。

- Windows セットアップが BSOD 0x7B（ブート デバイスがアクセス不可）で失敗する。

  SCU GUI でブート コントローラのデバイス ドライバを選択していない。

- CIMC の変更は、UCS-SCU ですぐに反映されません。

  サーバが SCU によって起動されている場合、CIMC を使用して仮想ディスクに対して行った変更は、SCU のユーザ インターフェイスですぐに表示されない場合があります。CIMC と同期するように、サーバをリブートします。

- 電源投入時セルフ テスト（POST）中に、LSI 内蔵 MegaRAID と LSI 2008 コントローラの両方が検出されるが、LSI 2008 コントローラのみが UCS-SCU に表示される。

  LSI 内蔵 MegaRAID と LSI 2008 は、UCS-SCU で同時にサポートされません。両方が存在する場合、LSI 2008 のみが検出されます。LSI 内蔵 MegaRAID を検出するには、コントローラを取り外します。